

機能一覧	
固定資産台帳機能一覧	
機能名称	概要
調査表兼評価算定ツール	土地、立木竹、建物、工作物(道路)について、それぞれ「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」の76段落、78段落、81段落、88段落の評価方法にて開始時における取得価額の算定を支援し、開始固定資産台帳ファイルを作成する。また、開始貸借対照表について、固定資産分の金額を埋めた形式で作成する。
開始固定資産取込機能	固定資産(建設仮勘定含む)の開始時データを一括で取り込み、固定資産台帳に登録する。
異動登録機能	画面から新規取得、売却及び除却等の固定資産に係る異動の登録を行う。
建設仮勘定整備機能	建設仮勘定に計上した資産の供用開始等、建設仮勘定の整備を行う。
固定資産一括メンテナンス機能	公有財産システム等から出力されたデータ、または固定資産台帳ファイル出力機能によって出力されたデータを加工することにより、一括で固定資産台帳をメンテナンスする。
減価償却費計算機能	記録された取得価額、耐用年数を元に減価償却費の計算を行い、異動履歴として登録する。
固定資産台帳ファイル出力機能	固定資産台帳に登録されたデータを加工無しでそのまま出力する、または「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」の別表2に則した形に整形して出力する。

財務書類作成機能一覧	
機能名称	概要
開始貸借対照表取込機能	開始貸借対照表を取り込み、残高として登録する。 ※開始貸借対照表については、表3-1 項番1の調査表兼評価算定ツールが作成を一部サポートする。
日々仕訳用連携機能	日々仕訳を行う場合に、歳入歳出伝票等の起票時に財務会計システムからAPI(Application Programming Interface)を通じて、予算科目等を受け取り、仕訳候補を財務会計システムへ返す。また、財務会計システムで仕訳候補から選択・決定された情報を受け取り、仕訳帳に登録する。
財務会計伝票取込機能	財務会計システム等で扱っている伝票や未収・未払のファイル形式の情報を取り込み仕訳帳に登録する。 取込んだ伝票データの金額を合算し、予算科目別集計表を出力する。
固定資産台帳連携機能	歳出情報を元に新規購入した資産を固定資産台帳へ登録する。 歳出情報を元に建設仮勘定へ計上する。 固定資産に係る減価償却等の非資金仕訳を仕訳帳に登録する。 固定資産台帳と仕訳帳の照合を行う。
仕訳帳整備機能	予算科目から勘定科目が特定できない場合の仕訳修正や整理仕訳を登録する。
仕訳帳一括メンテナンス機能	仕訳帳を一括出力したデータを加工し、仕訳の一括修正や一括登録を行う。
読替ツール	全体及び連結対象団体の決算書や決算統計情報を読み込み、連結科目対応表に基づき本ソフトウェアに登録可能な形式に変換する。 内部取引調査表を元に、相殺情報を本ソフトウェアへ取込み可能な形式へ変換する。
帳票出力機能	「財務書類作成要領」及び「連結財務書類作成の手引き」の様式に記された帳票及び総勘定元帳を出力する。

活用分析機能一覧	
機能名称	概要
セグメント設定機能	セグメントコードと仕訳帳または固定資産台帳を紐付ける。紐付けたデータをセグメント配賦テーブルに登録する。
セグメント仕訳作成機能	セグメントコードと仕訳帳及び固定資産台帳の紐付けと固定資産台帳の減価償却費を元にセグメント別帳票出力用のデータを登録する。
セグメント別帳票出力機能	セグメント仕訳作成機能で作成されたデータを元にセグメント別の帳票を出力する。
財務書類等出力機能(指標シート)	財務書類4表のデータを元に分析用の指標を計算し指標シート等に出力する。 固定資産台帳を元に将来の施設更新必要額の推移を別シートに出力する。

システム構成等
「地方公会計標準ソフトウェア及び各種導入マニュアル配布用Webサイト」をご参照下さい。 URL : https://www.kokaikai.jp/

※ 本ソフトウェアは、
地方公共団体金融機構の資金拠出により開発されたものです。

地方公共団体情報システム機構 研究開発部

● 本紙に記載の仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。

地方公会計標準ソフトウェア

「統一的な基準の理解に不安がある」
「財務書類の作成が初めてでも大丈夫？」
「資産管理や予算編成などに活用していきたい」
などの声に対応！

公会計初心者作成、活用・分析を徹底サポート

Point 1

総務省が示す統一的な基準に完全準拠の安心設計！

- 細かな基準を意識しなくても安心して財務書類を作成・公表できます。
- 日々仕訳、期末一括仕訳の選択が可能です。
- 財務書類の体系について、4表、3表の選択が可能です。
- 各社財務会計システムとのデータ連携が可能なインターフェースを用意。

Point 2

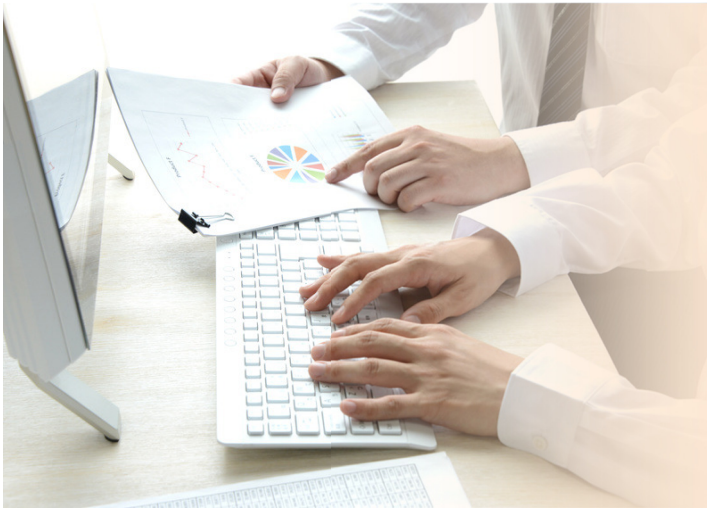
充実したサポートで初心者でもらくらく作成！

- 仕訳等の徹底した自動化により、作業を大幅に省力化。
初心者でも無理なく、財務書類を作成できます。
- システム操作が一目で分かる動画マニュアルや統一的な基準も確認できるヘルプ機能を用意。
操作しながら統一的な基準を理解でき、マニュアルを読み返す必要がありません。
- システム導入から実際の操作方法まで、ヘルプデスク(無料)でフルサポート。

Point 3

簡単操作で公会計を新たな「活用」のステージへ！

- 施設更新必要額の将来推計を自動算出し、施設の統廃合のシミュレーション機能も搭載。
公共施設等総合管理計画の精緻化等を強力にサポートします。
- 施設別・事業別などのセグメント分析を簡単操作で実現。
予算編成への活用や事業の見直し、施設の統廃合などを検討する際の資料として活用できます。
- 資産老朽化比率や債務償還可能年数といった分析指標を自動算出。



地方公会計標準ソフトウェアは、固定資産台帳の整備から財務書類の作成、活用・分析までをトータルにサポートするソフトウェアです。

固定資産台帳

「統一的な基準による地方公会計マニュアル」の「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」に則した固定資産台帳の管理が行えるよう、各固定資産の取得年月日、取得価額及び耐用年数等のデータの管理、減価償却及び固定資産台帳の出力等を行う機能です。

財務書類作成

「統一的な基準による地方公会計マニュアル」の「財務書類作成要領」及び「連結財務書類作成の手引き」に則した財務書類の作成が行えるよう、既存の財務会計システムの現金主義・単式簿記のデータを元にした発生主義・複式簿記へのデータ変換、整理仕訳、固定資産台帳との連携及び照合、財務書類作成(連結含む)等を行う機能です。

活用・分析

「統一的な基準による地方公会計マニュアル」の「財務書類等活用の手引き」に記載された活用・分析等が行えるよう、固定資産台帳を元に将来の施設更新必要額の推計、事業や施設といったセグメントに分解した財務書類の作成、指標の自動算出を行う機能です。

※画面は開発中のものです。

特徴 1

統一的な基準に完全に準拠した自動仕訳

「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に完全に準拠しています。各社の財務会計システムとのデータ連携が可能なインターフェースを備えており、大部分の仕訳を自動的に行うことができ、必要に応じて仕訳を画面上で直接入力・修正することも可能です。また、財務書類の数値を伝票や固定資産台帳にさかのぼって確認することもでき、公表時に求められる検証可能性や正確性を高いレベルで実現します。

特徴 3

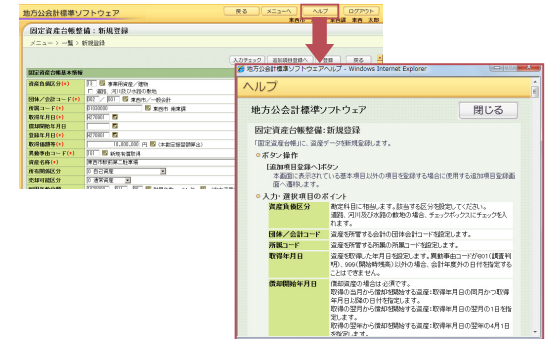
自由な分析を可能にするセグメント分析機能

セグメント分析機能として、施設別、事業別の分析はもちろん、地域別や所属別など、各団体のニーズに合わせたセグメントを自由に設定できる機能をご用意しており、簡単操作で分析が可能です。セグメント分析は、1施設からピンポイントで分析をすることも可能です。セグメント分析を必要な部分から無理なく段階的に適用していくことができます。

特徴 4

充実したヘルプ機能

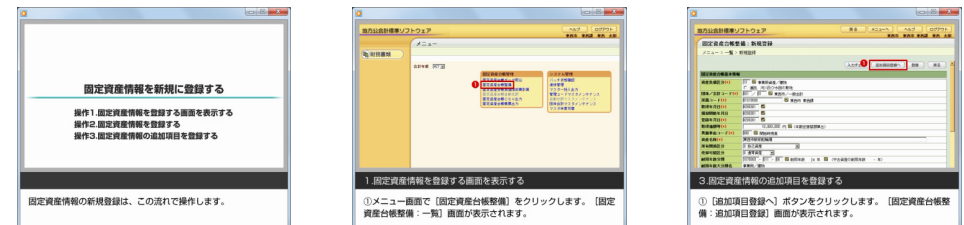
ヘルプ画面で参照できる操作説明は、各画面でそれぞれ個別に用意しています。ワンクリックで操作中の画面に合わせた説明が参照可能であるため、検索等で記載箇所を探す必要がなく、スムーズに必要な操作方法を参照することができます。また、操作方法と併せて、総務省が公表している地方公会計マニュアルの記載内容も確認できます。



特徴 5

一目で分かる動画マニュアル

統一的な基準に基づいた財務書類の作成の基本から標準ソフトウェアの操作方法まで学べる動画を用意しています。会計初心者も安心して利用でき、かつ担当者の異動時の引継ぎもスムーズに行えます。



特徴 2

施設更新必要額の推計も簡単に出力

固定資産台帳を元に施設更新必要額の推計を簡単に出力できます。単純な出力だけでなく、勘定科目別、施設別、行政目的別、地域別など、様々な観点で分析を行うことができ、公共施設等総合管理計画の精緻化等に活用することができます。

データ取り込み

大部分を
自動仕訳

自動仕訳

伝票や台帳の
検証も可能

仕訳入力・修正

書類作成

財務書類システム

仕訳伝票整備：新規伝票発行

メニュー > 検索 > 一覧 > 新規伝票発行

収入支出区分	予算区分	手発行	借入	借出	金額	発生源区分
	0 現年				0	

仕訳情報

執行年月日 (+) H270801

仕訳パターンコード 1001

借方勘定科目コード (+) 1150000 85 建物 貸方勘定科目コード (+) 2100000 CF 固定資産等形成支出

借方・貸方金額 (+) 123,000,000 円

件名 複合施設建設費

摘要 基礎工事費用

仕訳付随情報

仕訳伝票種別 201 支出命令

連結区分 対象外 相殺用 連結修正用 連結相手先区分 9 対象外

相手方名称

資産負債区分

資産負債番号

建設勘定番号

必要に応じて
入力、修正も可能